

東京都 公立 社会 問題

1 次の各問に答えよ。

問 1 次の資料は、ある地域の様子を地域調査の発表用としてまとめたものの一部である。下のア～エの地形図は、「国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図」の一部を拡大して作成した地形図上に ● で示した A 点から、B 点を経て、C 点まで移動した経路を太線（——）で示したものである。資料で示された地域に当てはまるのは、下のア～エのうちではどれか。

漁師町の痕跡を巡る

調査日 令和 3 年 10 月 2 日（土） 天候 晴れ

複数の文献等に共通した地域の特徴

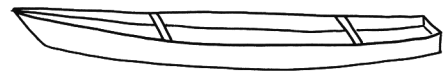
〔ベカ舟〕

○ A 点付近の様子

ベカ舟がつながれていた川、漁業を営む家、町役場

○ B 点付近の様子

にぎやかな商店街、細い路地



長さ約 4.8m、幅約 1.0m、高さ約 0.6m

漁師町の痕跡を巡った様子

A 点で川に架かる橋から東を見ると、漁業に使うベカ舟がつながれていた川が曲がっている様子が見えた。その橋を渡ると、水準点がある場所に旧町役場の跡の碑があった。南へ約 50m 歩いて南東に曲がった道路の B 点では、明治時代初期の商家の建物や細い路地がいくつか見られた。川に並行した道路を約 450m 歩き、北東に曲がって川に架かる橋を渡り、少し歩いて北西に曲がって川に並行した道路を約 250m 直進し、曲がりくねった道を進み、東へ曲がると、学校の前の C 点に着いた。

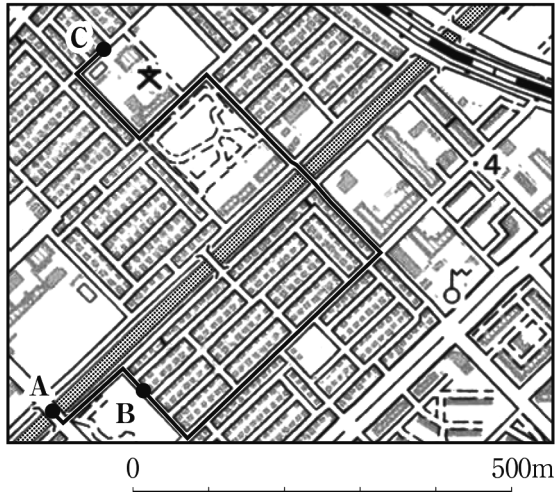
A 点 (漁業に使うベカ舟がつながれていた川)



B 点 (明治時代初期の商家の建物が見られる道路)

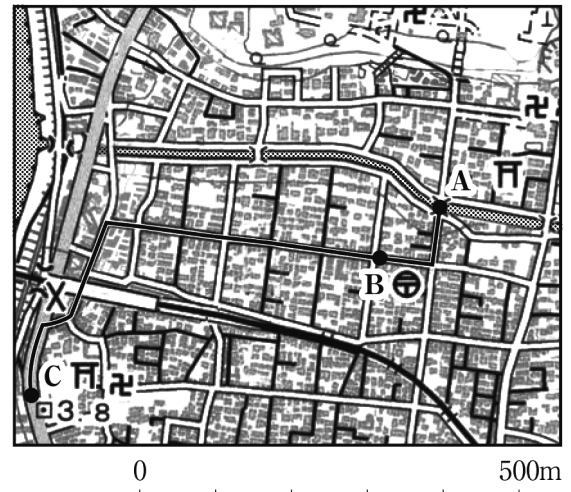


ア



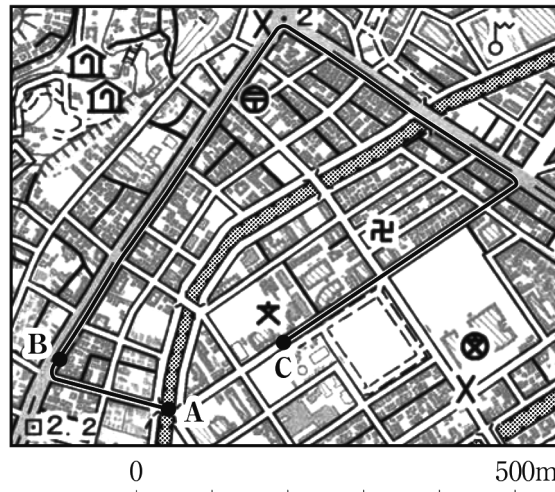
(2019 年の「国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図
(千葉西部)」の一部を拡大して作成)

イ



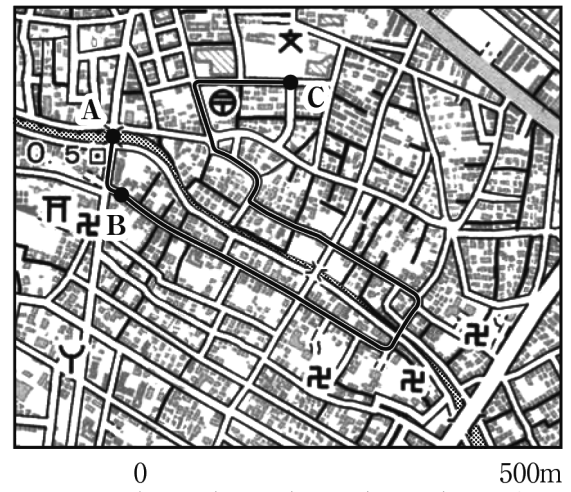
(2019 年の「国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図
(船橋)」の一部を拡大して作成)

ウ



(2020 年の「国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図
(横浜西部)」の一部を拡大して作成)

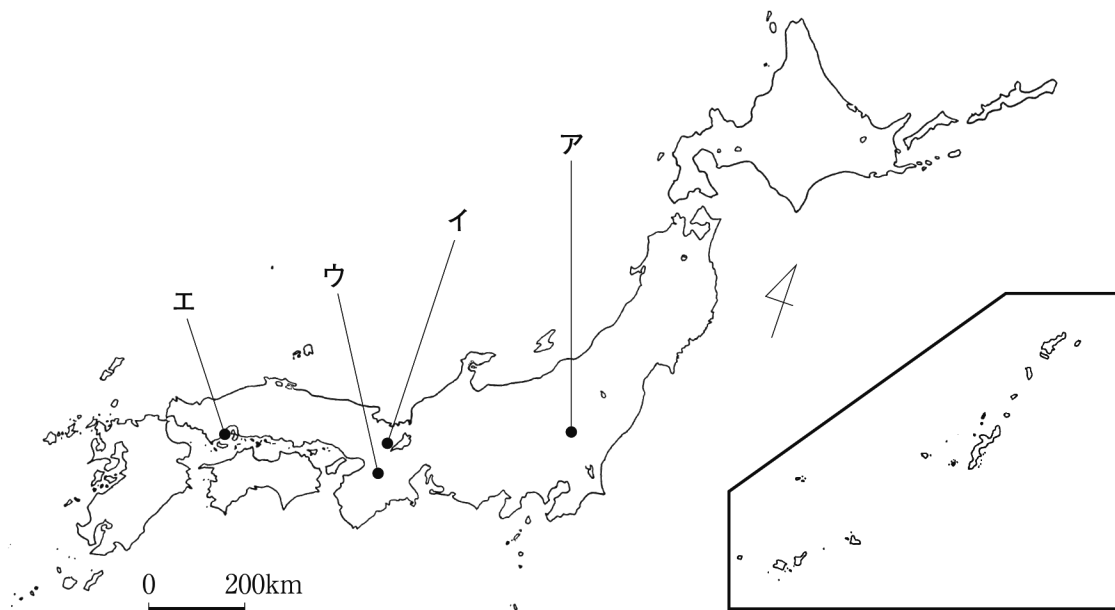
エ



(2015 年の「国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図
(浦安)」の一部を拡大して作成)

問2 次のⅠの略地図中のア～エは、世界遺産に登録されている我が国の主な歴史的文化財の所在地を示したものである。Ⅱの文章で述べている歴史的文化財の所在地に当てはまるのは、略地図中のア～エのうちのどれか。

Ⅰ



Ⅱ

鑑真^{がんじん}によって伝えられた戒律^{りっしゆ}を重んじる律宗^{りつしゅう}の中心となる寺院は、中央に朱雀大路^{すざくおおじ}が通り、碁盤^{ごばん}の目状に整備された都に建立^{こんりゅう}された。金堂^{こんどう}や講堂などが立ち並び、鑑真和上^{がんじんわじょう}坐像^{ざざう}が御影堂^{みえいどう}に納められており、1998年に世界遺産に登録された。

問3 次の文章で述べている司法機関に当てはまるのは、下のア～エのうちのどれか。

都府県に各1か所、北海道に4か所の合計50か所に設置され、開かれる裁判は、原則、第一審となり、民事裁判、行政裁判、刑事裁判を扱う。重大な犯罪に関わる刑事事件の第一審では、国民から選ばれた裁判員による裁判が行われる。

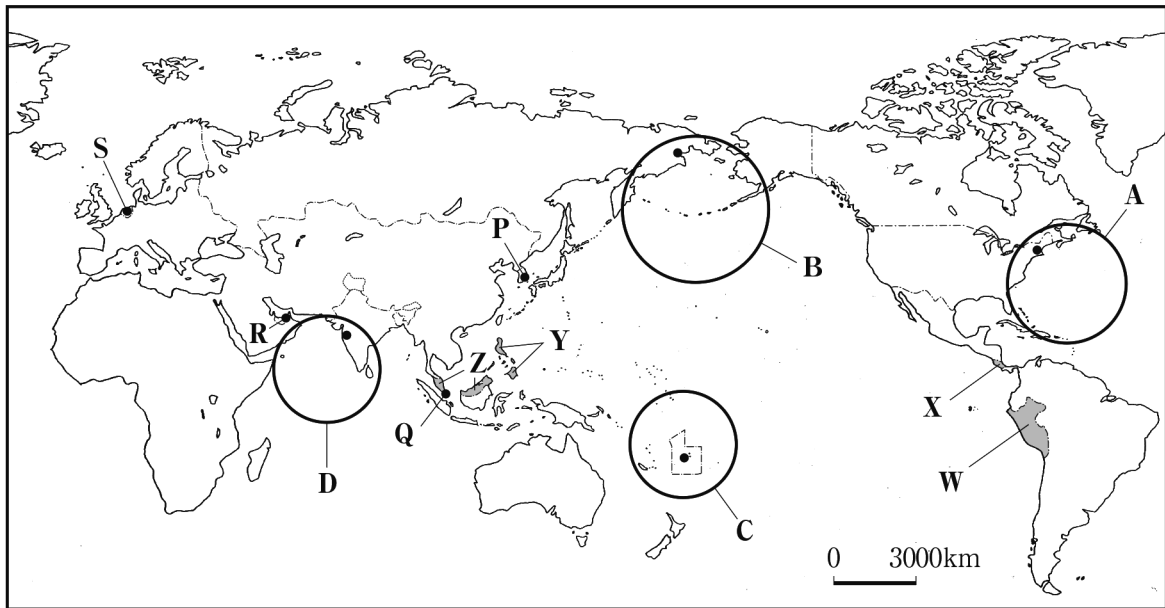
ア 地方裁判所

イ 家庭裁判所

ウ 高等裁判所

エ 簡易裁判所

2 次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。

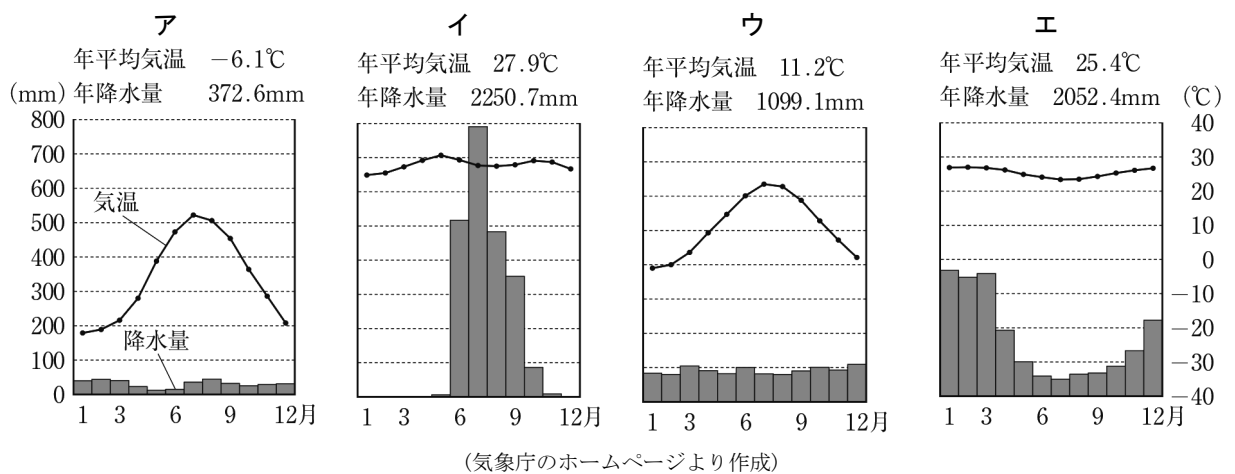


問1 次のⅠの文章は、略地図中に ○ で示したA～Dのいずれかの範囲の海域と都市の様子についてまとめたものである。Ⅱの ア～エ のグラフは、略地図中のA～Dのいずれかの範囲内に ● で示した都市の、年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Ⅰの文章で述べている海域と都市に当てはまるのは、略地図中のA～Dのうちのどれか、また、その範囲内に位置する都市のグラフに当てはまるのは、Ⅱの ア～エ のうちのどれか。

Ⅰ

イスラム商人が、往路は夏季に発生する南西の風とその風の影響による海流を、復路は冬季に発生する北東の風とその風の影響による海流を利用して、三角帆のダウ船で航海をしていた。●で示した都市では、季節風（モンスーン）による雨の到来を祝う文化が見られ、降水量が物価動向にも影響するため、気象局が「モンスーン入り」を発表している。

Ⅱ



問2 次の表の**ア**～**エ**は、コンテナ 埠頭^{ふとう}が整備された港湾が位置する都市のうち、略地図中にP～Sで示した、釜山^{プサン}、シンガポール、ドバイ、ロッテルダムの**いずれか**の都市に位置する港湾の、2018年における総取扱貨物量と様子についてまとめたものである。略地図中のP～Sのそれぞれの都市に位置する港湾に当てはまるのは、次の表の**ア**～**エ**のうちではどれか。

	総取扱 貨物量 (百万 t)	港湾の様子
ア	461	経済大国を最短距離で結ぶ大圏航路上付近に位置する利点を生かし、国際貨物の物流拠点となるべく、国家事業として港湾整備が進められ、2018年にはコンテナ取扱量は世界第6位となっている。
イ	174	石油の輸送路となる海峡付近に位置し、石油依存の経済からの脱却を図る一環として、この地域の物流を担 ^{にな} う目的で港湾が整備され、2018年にはコンテナ取扱量は世界第10位となっている。
ウ	469	複数の国を流れる河川の河口に位置し、2020年では域内の国の人口の合計が約4億5000万人、国内総生産（GDP）の合計が約15兆2000億ドルの単一市場となる地域の中心的な貿易港で、2018年にはコンテナ取扱量は世界第11位となっている。
エ	630	人口密度約8000人/km ² を超える国の南部に位置し、地域の安定と発展を目的に1967年に5か国で設立され現在10か国が加盟する組織において、ハブ港としての役割を果たし、2018年にはコンテナ取扱量は世界第2位となっている。

(注) 国内総生産とは、一つの国において新たに生み出された価値の総額を示した数値のことである。

(「データブック オブ・ザ・ワールド」2021年版などより作成)

問3 次のⅠとⅡの表のア～エは、略地図中に  で示したW～Zのいずれかの国に当てはまる。Ⅰの表は、1999年と2019年における日本の輸入総額、日本の主な輸入品目と輸入額を示したものである。Ⅱの表は、1999年と2019年における輸出総額、輸出額が多い上位3位までの貿易相手国を示したものである。Ⅲの文章は、略地図中のW～Zのいずれかの国について述べたものである。Ⅲの文章で述べている国に当てはまるのは、略地図中のW～Zのうちのどれか、また、ⅠとⅡの表のア～エのうちのどれか。

Ⅰ

		日本の 輸入総額 (億円)	日本の主な輸入品目と輸入額(億円)					
ア	1999年	12414	電気機器	3708	一般機械	2242	液化天然ガス	1749
	2019年	19263	電気機器	5537	液化天然ガス	4920	一般機械	755
イ	1999年	331	金属鉱及びくず	112	非鉄金属	88	飼料	54
	2019年	2683	金属鉱及びくず	1590	液化天然ガス	365	揮発油	205
ウ	1999年	93	一般機械	51	コーヒー	14	植物性原材料	6
	2019年	459	精密機器類	300	電気機器	109	果実	15
エ	1999年	6034	一般機械	1837	電気機器	1779	果実	533
	2019年	11561	電気機器	4228	金属鉱及びくず	1217	一般機械	1105

(「データブック オブ・ザ・ワールド」2021年版などより作成)

Ⅱ

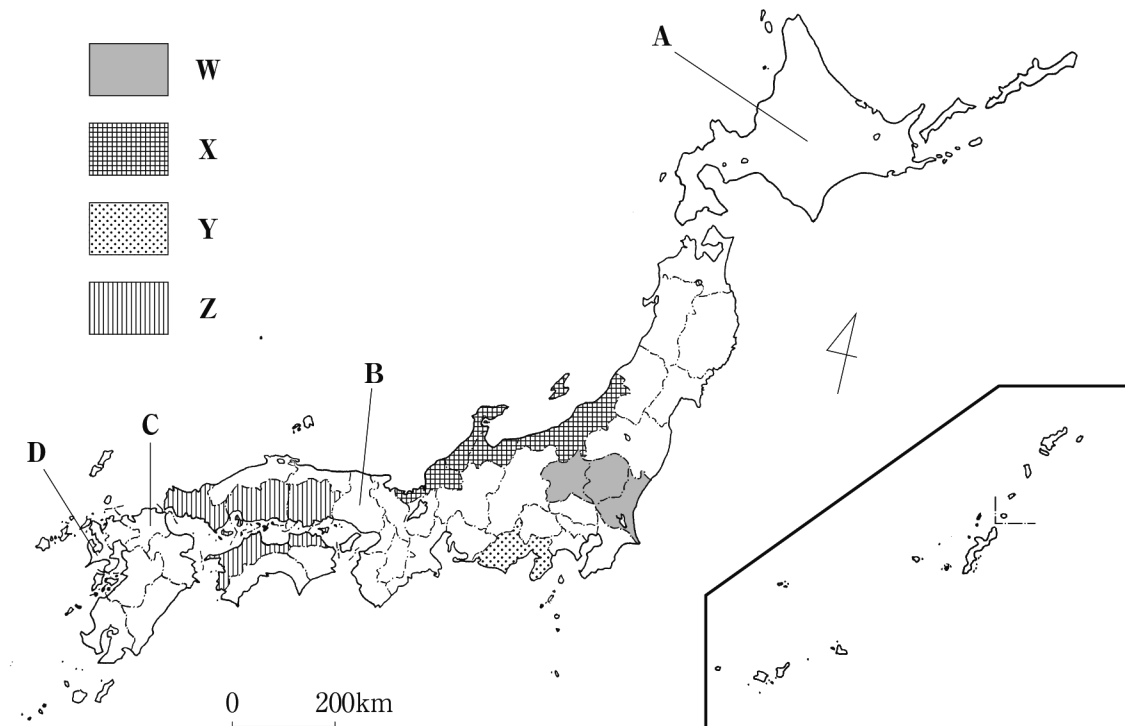
		輸出総額 (億ドル)	輸出額が多い上位3位までの貿易相手国		
			1位	2位	3位
ア	1999年	845	アメリカ合衆国	シンガポール	日本
	2019年	2381	中華人民共和国	シンガポール	アメリカ合衆国
イ	1999年	59	アメリカ合衆国	スイス	イギリス
	2019年	461	中華人民共和国	アメリカ合衆国	カナダ
ウ	1999年	63	アメリカ合衆国	オランダ	イギリス
	2019年	115	アメリカ合衆国	オランダ	ベルギー
エ	1999年	350	アメリカ合衆国	日本	オランダ
	2019年	709	アメリカ合衆国	日本	中華人民共和国

(国際連合貿易統計データベースより作成)

Ⅲ

1946年に独立したこの国では、軽工業に加え電気機器関連の工業に力を注ぎ、外国企業によるバナナ栽培などの一次産品中心の経済から脱却を図ってきた。1989年にはアジア太平洋経済協力会議（A P E C）^{エイペック}に参加し、1999年と比較して2019年では、日本の輸入総額は2倍に届かないものの増加し、貿易相手国としての中華人民共和国の重要性が増している。1960年代から日本企業の進出が見られ、近年では、人口が1億人を超え、英語を公用語としていることからコールセンターなどのサービス産業も発展している。

3 次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。



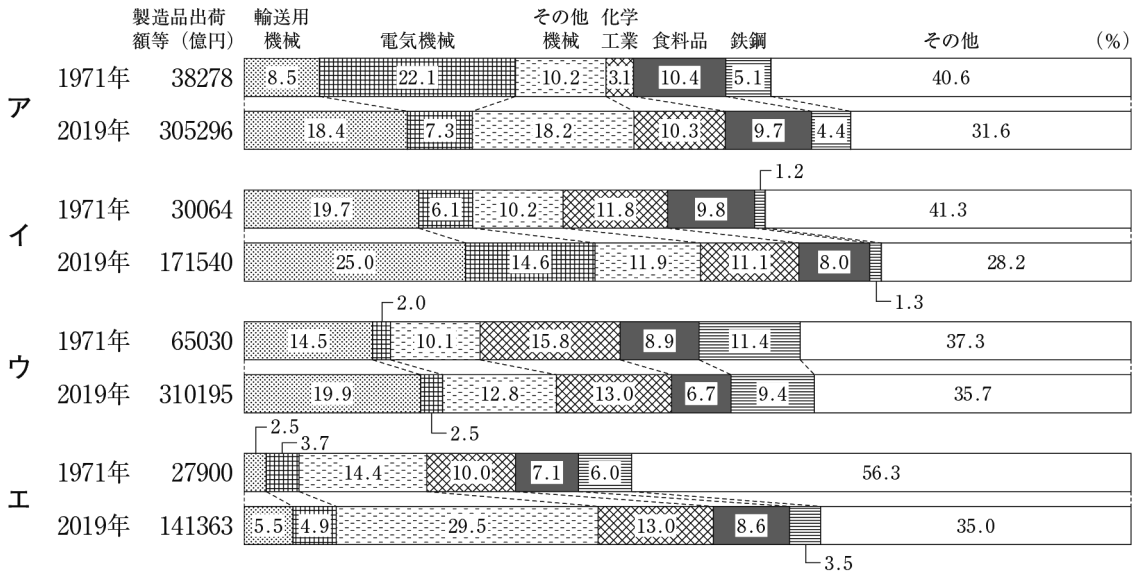
問 1 次の表の **ア**～**エ**は、略地図中に A～D で示したいずれかの道県の、2019 年における鉄鋼業と造船業の製造品出荷額等、海岸線と臨海部の工業の様子についてまとめたものである。A～D のそれぞれの道県に当てはまるのは、次の表の **ア**～**エ** のうちではどれか。

	製造品出荷額等(億円)		海岸線と臨海部の工業の様子
	鉄鋼	造船	
ア	9769	193	○678km の海岸線には、干潟や陸と島をつなぐ砂州が見られ、北東部にある東西 20km、南北 2 km の湾に、工業用地として埋め立て地が造成された。 ○国内炭と中国産の鉄鉱石を原料に鉄鋼を生産していた製鉄所では、現在は輸入原料を使用し、自動車用の鋼板を生産している。
イ	19603	2503	○855km の海岸線には、北部に国立公園に指定されたリアス海岸が見られ、南部に工業用地や商業用地として埋め立て地が造成された。 ○南部の海岸には、高度経済成長期に輸入原料を使用する製鉄所が立地し、国際貿易港に隣接する岬には、造船所が立地している。
ウ	3954	310	○4445km の海岸線には、砂 ^さ 嘴 ^し や砂州、陸 ^{りく} 繋 ^{けい} 島 ^{とう} 、プレート運動の力が複雑に加わり形成された半島などが見られる。 ○国内炭と周辺で産出される砂鉄を原料に鉄鋼を生産していた製鉄所では、現在は輸入原料を使用し、自動車の部品に使われる特殊鋼を生産している。
エ	336	2323	○4170km の海岸線には、多くの島や半島、岬によって複雑に入り組んだリアス海岸が見られる。 ○人口が集中している都市の臨海部に、カーフェリーなどを建造する造船所が立地し、周辺にはボイラーの製造などの関連産業が集積している。

(「日本国勢図会」2020/21 年版などより作成)

問2 次のページのⅠのア～エのグラフは、略地図中にW～Zで示したいずれかの地域の1971年と2019年における製造品出荷額等と産業別の製造品出荷額等の割合を示したものである。Ⅱの文章は、Ⅰのア～エのいずれかの地域について述べたものである。Ⅱの文章で述べている地域に当てはまるのは、Ⅰのア～エのうちのどれか、また、略地図中のW～Zのうちのどれか。

Ⅰ



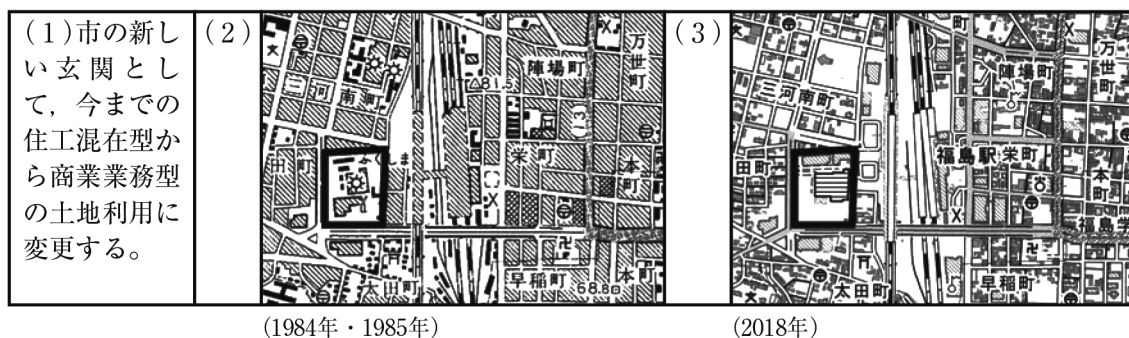
(注) 四捨五入をしているため、産業別の製造品出荷額等の割合を合計したものは、100%にならない場合がある。
(2019年工業統計表などより作成)

Ⅱ

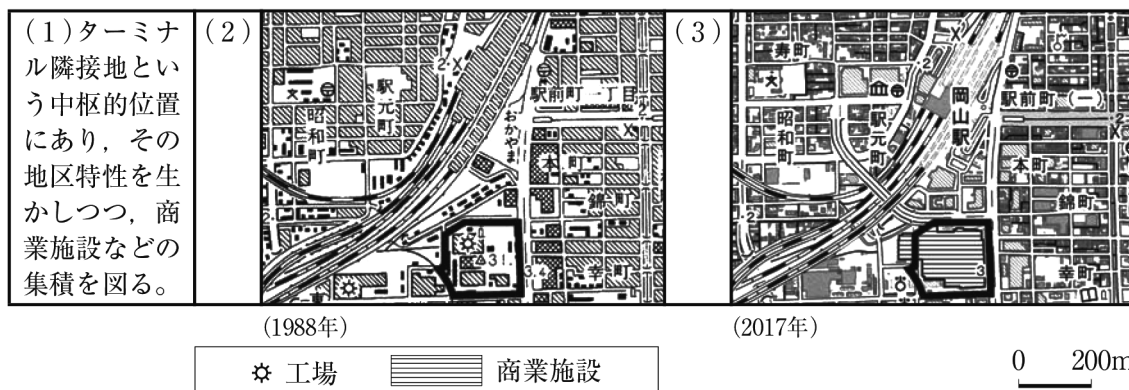
絹織物や航空機産業を基礎として、電気機械等の製造業が発展した。高速道路網の整備に伴い、1980年に西部が、1987年に中部が東京とつながり、2011年には1998年開港の港湾と結ばれた。西部の高速道路沿いには、未来技術遺産に登録された製品を生み出す高度な技術をもつ企業の工場が立地している。2019年には電気機械の出荷額等は約2兆円となる一方で、自動車関連の輸送用機械の出荷額等が増加し、5兆円を超えるようになった。

問3 次のⅠ(1)とⅡ(1)の文は、1984年に示された福島市と1997年に示された岡山市の太線(——)で囲まれた範囲を含む地域に関する地区計画の一部を分かりやすく書き改めたものである。Ⅰ(2)は1984年・1985年の、Ⅰ(3)は2018年の「2万5千分の1地形図(福島北部・福島南部)」の一部を拡大して作成したものである。Ⅱ(2)は1988年の、Ⅱ(3)は2017年の「2万5千分の1地形図(岡山南部)」の一部を拡大して作成したものである。ⅠとⅡの資料から読み取れる、太線で囲まれた範囲に共通した土地利用の変化について、簡単に述べよ。また、ⅠとⅡの資料から読み取れる、その変化を可能にした要因について、それぞれの県内において乗降客数が多い駅の一つである福島駅と岡山駅に着目して、簡単に述べよ。

Ⅰ



Ⅱ



4 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

私たちは、身の回りの土地やものについて面積や重量などを道具を用いて計測し、その結果を暮らしに役立ててきた。

古代から、各時代の権力者は、(1)財政基盤を固めるため、土地の面積を基に税を徴収するなどの政策を行ってきた。時代が進み、(2)地域により異なっていた長さや面積などの基準が統一された。

(3)江戸時代に入ると、天文学や数学なども発展を遂げ、明治時代以降、我が国の科学技術の研究水準も向上し、独自の計測技術も開発されるようになった。

第二次世界大戦後になると、従来は計測することができなかった距離や大きさなどが、新たに開発された機器を通して計測できるようになり、(4)環境問題などの解決のために生かされてきた。

問 1 (1) 財政基盤を固めるため、土地の面積を基に税を徴収するなどの政策を行ってきた。とあるが、次のア～エは、権力者が財政基盤を固めるために行った政策の様子について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 朝廷は、人口増加に伴う土地不足に対応するため、^{こん でん えい わん し ざい ほう}墾田永年私財法を制定し、新しく開墾した土地であれば、永久に私有地とすることを認めた。

イ 朝廷は、財政基盤を強化するため、摂関政治を主導した有力貴族や寺社に集中していた^{しょう えん}荘園を整理するとともに、大きさの異なる^{ます}柵の統一を図った。

ウ 朝廷は、元号を^{けん む}建武に改め、天皇中心の政治を推進するため、全国の田畑について調査させ、^{ねん 貢}年貢などの一部を徴収し貢納させた。

エ 二度にわたる元軍の襲来を退けた幕府は、租税を全国に課するため、諸国の守護に対して、田地面積や領有関係などを記した文書の提出を命じた。

問 2 (2) 地域により異なっていた長さや面積などの基準が統一された。とあるが、次のⅠの略年表は、室町時代から江戸時代にかけての、政治に関する主な出来事についてまとめたものである。Ⅱの文章は、ある人物が示した検地における実施命令書の一部と計測基準の一部を分かりやすく書き改めたものである。Ⅱの文章が出された時期に当てはまるのは、Ⅰの略年表中のア～エの時期のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	政治に関する主な出来事
1560	● ^{する が} 駿河国（静岡県）・ ^{とおとうみ} 遠江国（静岡県）……などを支配していた人物が、 ^{おけはざ ま} 桶狭間において倒された。ア
1582	●全国統一を目指していた人物が、京都の…… ^{ほんのう じ} 本能寺において倒された。イ
1600	● ^{せき が はら} 関ヶ原の戦いに勝利した人物が、全国支…… ^{おけはざ ま} 配の実権をにぎった。ウ
1615	●全国の大名が守るべき事柄をまとめた ^{ぶ け} 武家…… ^{しよはつ と} 諸法度が定められた。エ
1635	●全国の大名が、 ^{くにもと} 国元と江戸とを1年交代で……往復する制度が定められた。

Ⅱ

【実施命令書の一部】 ○日本全国に厳しく申し付けられている上は、おろそかに実施してはならない。
【計測基準の一部】 ○田畑・屋敷地は長さ6尺3寸を1間とする^{さお}竿を用い、5間かける60間の300歩を、1^{たん}反として面積を調査すること。 ○^{じょう でん}上田の^{こく もり}石盛は1石5斗、^と中田は1石3斗、^{げ でん}下田は1石1斗、^{げ げ でん}下々田は状況で決定すること。 ○^{ます}升は^{きょう ます}京升に定める。必要な京升を準

問3 (3)江戸時代に入ると、天文学や数学なども発展を遂げ、明治時代以降、我が国の科学技術の研究水準も向上し、独自の計測技術も開発されるようになった。とあるが、次のア～エは、江戸時代から昭和時代にかけての我が国独自の計測技術について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

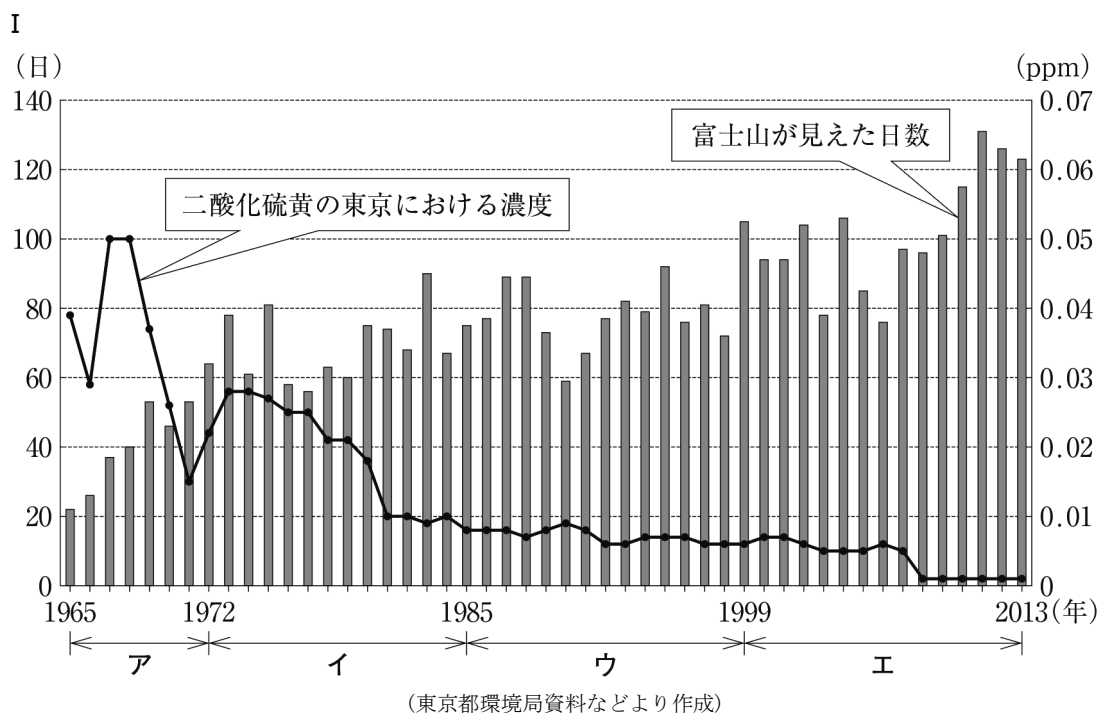
ア 後にレーダー技術に応用される超短波式アンテナが開発された頃、我が国最初の常設映画館が開館した浅草と、上野との間で地下鉄の運行が開始された。

イ 正確な暦を作るために浅草に天文台が設置された後、寛政の改革の一環として、幕府直轄の昌平坂学問所や薬の調合などを行う医官養成機関の医学館が設立された。

ウ 西洋時計と和時計の技術を生かして、時刻や曜日などを指し示す機能を有する万年自鳴鐘が開発された頃、黒船来航に備えて台場に砲台を築造するため、水深の計測が実施された。

エ 中部地方で発生した地震の研究に基づいて大森式地震計が開発された頃、日英同盟の締結を契機に、イギリスの無線技術を基にした無線電信機が開発された。

問4 (4)環境問題などの解決のために生かされてきた。とあるが、次のⅠのグラフは、1965年から2013年までの、東京のある地点から富士山が見えた日数と、大気汚染の一因となる二酸化硫黄の東京における濃度の変化を示したものである。Ⅱの文章は、Ⅰのグラフのア～エのいずれかの時期における国際情勢と、我が国や東京の環境対策などについてまとめたものである。Ⅱの文章で述べている時期に当てはまるのは、Ⅰのグラフのア～エの時期のうちではどれか。



Ⅱ

東ヨーロッパ諸国で民主化運動が高まり、東西ドイツが統一されるなど国際協調の動きが強まる中で、国際連合を中心に地球温暖化防止策が協議され、温室効果ガスの排出量の削減について数値目標を設定した京都議定書が採択された。長野県では、施設建設において極力既存の施設を活用し、自然環境の改変が必要な場合は大会後復元を図った、オリンピック・パラリンピック冬季競技大会が開催され、東京都においては、「地球環境保全東京アクションプラン」を策定し、大気汚染の状況は改善された。この時期には、Ⅰのグラフの観測地点から平均して週1回は富士山を見ることができた。

5 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

明治時代に作られた情報という言葉は、ある事柄の内容について文字などで伝達する知らせを表す意味として現在はいわれている。天気予報や経済成長率などの情報は、私たちの日々の暮らしに役立っている。

日本国憲法の中では、(1) 自分の意見を形成し他者に伝える権利が、一定の決まり（ルール）の下で保障されている。

現代の社会は(2) 情報が大きな役割を担うようになり、情報化社会とも呼ばれるようになった。その後、インターネットの普及は、私たちと情報との関わり方を変えることとなった。

(3) 情報が新たな価値を生み出す社会では、企業の中で、情報化を推進し、課題の解決策を示したり、ソフトウェアを開発したりする、デジタル技術を活用できる人材を確保していくことの重要性が増している。また、(4) 情報の活用を進め、社会の様々な課題を解決していくためには、新たな決まり（ルール）を定める必要がある。

問1 (1) 自分の意見を形成し他者に伝える権利が、一定の決まり（ルール）の下で保障されている。とあるが、精神（活動）の自由のうち、個人の心の中にある、意思、感情などを外部に明らかにすることを保障する日本国憲法の条文は、次のア～エのうちではどれか。

ア ^{なんびと}何人も、いかなる奴隷的拘束も受けない。又、犯罪に ^よ因る処罰の場合を除いては、その意に反する苦役に服させられない。

イ 思想及び良心の自由は、これを侵してはならない。

ウ 何人も、公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する。

エ 集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。

問2 (2) 情報が大きな役割を担^{にな}うようになり、情報化社会とも呼ばれるようになった。とあるが、次のⅠの略年表は、1938年から1998年までの、我が国の情報に関する主な出来事をまとめたものである。Ⅱの文章は、Ⅰの略年表中の^ア～^エのいずれかの時期における社会の様子について、①は通信白書の、②は国民生活白書の一部をそれぞれ分かりやすく書き改めたものである。Ⅱの文章で述べている時期に当てはまるのは、Ⅰの略年表中の^ア～^エの時期のうちではどれか。

Ⅰ

西暦	我が国の情報に関する主な出来事	
1938	●標準放送局型ラジオ受信機が発表された。……………	^ア
1945	●人が意見を述べる参加型ラジオ番組の放送が開始された。	
1953	●白黒テレビ放送が開始された。……………	
1960	●カラーテレビ放送が開始された。	^イ
1964	●東京オリンピック女子バレーボール決勝の平均視聴率が関東地区で66.8%を記録した。	
1972	●札幌オリンピック閉会式の平均視聴率が札幌で59.5%を記録した。……………	^ウ
1974	●テレビの深夜放送が一時的に休止された。	
1985	●テレビで文字多重放送が開始された。……………	^エ
1989	●衛星テレビ放送が開始された。	
1998	●ニュースなどを英語で発信するワールドテレビ放送が開始された。……………	

Ⅱ

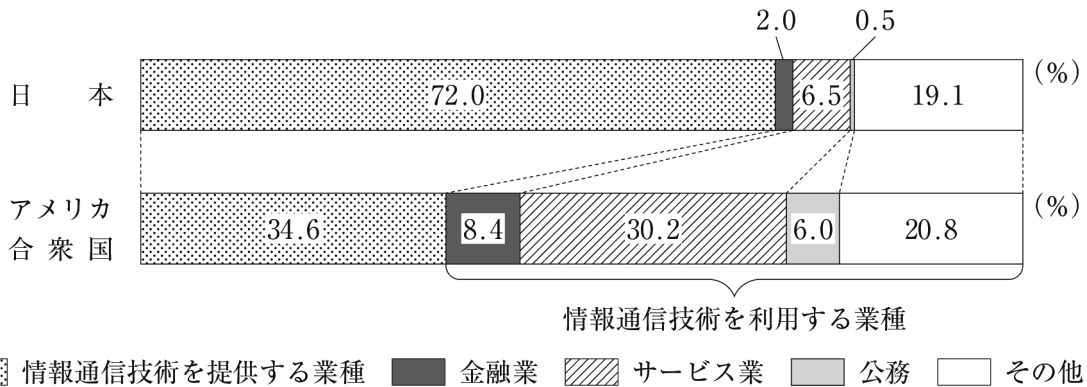
- ①私たちの社会は、情報に対する依存を強めており、情報の流通は食料品や工業製品などの流通、つまり物流と同等あるいはそれ以上の重要性をもつようになった。
- ②社会的な出来事を同時に知ることができるようになり、テレビやラジオを通じて人々の消費生活も均質化している。また、節約の経験により、本当に必要でなければ買わないで今持っているものの使用期間を長くする傾向が、中東で起きた戦争の影響を受けた石油危機から3年後の現在も見られる。

問3 (3) 情報が新たな価値を生み出す社会では、企業の中で、情報化を推進し、課題の解決策を示したり、ソフトウェアを開発したりする、デジタル技術を活用できる人材を確保していくことの重要性が増している。とあるが、次のⅠの文章は、2019年の情報通信白書の一部を分かりやすく書き改めたものである。Ⅱのグラフは、2015年の我が国とアメリカ合衆国における情報処理・通信に携わる人材の業種別割合を示したものである。Ⅱのグラフから読み取れる、Ⅰの文章が示された背景となる我が国の現状について、我が国より取り組みが進んでいるアメリカ合衆国と比較して、情報通信技術を提供する業種と利用する業種の構成比の違いに着目し、簡単に述べよ。

Ⅰ

- 今後、情報通信技術により、企業は新しい製品やサービスを市場に提供することが可能となる。
- 新たな製品やサービスを次々と迅速に開発・提供していくために、情報通信技術を利用する業種に十分な情報通信技術をもった人材が必要である。

Ⅱ



(注) 四捨五入をしているため、情報処理・通信に携わる人材の業種別割合を合計したものは、100%にならない場合がある。
(独立行政法人情報処理推進機構資料より作成)

問4 (4) 情報の活用を進め、社会の様々な課題を解決していくためには、新たな決まり（ルール）を定める必要がある。とあるが、次のⅠのA～Eは、令和3年の第204回通常国会で、情報通信技術を用いて多様で大量の情報を適正かつ効果的に活用することであらゆる分野における創造的かつ活力ある発展が可能となる社会の形成について定めた「デジタル社会形成基本法」が成立し、その後、公布されるまでの経過について示したものである。Ⅱの文で述べていることが行われたのは、下のA～Eのうちではどれか。

Ⅰ

- A 第204回通常国会が開会される。(1月18日)
- B 法律案が内閣で閣議決定され、国会に提出される。(2月9日)
- C 衆議院の本会議で法律案が可決される。(4月6日)
- D 参議院の本会議で法律案が可決される。(5月12日)
- E 内閣の助言と承認により、天皇が法律を公布する。(5月19日)

(衆議院、参議院のホームページより作成)

Ⅱ

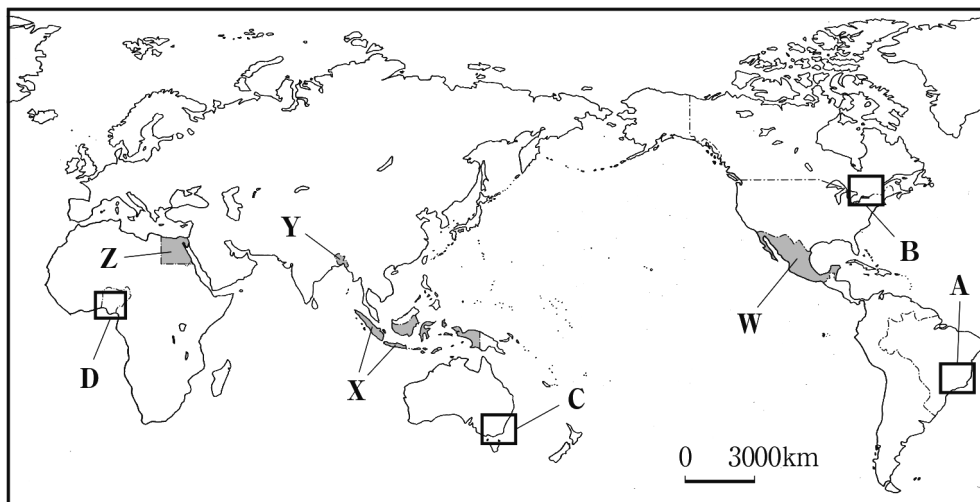
衆議院の内閣委員会で法律案の説明と質疑があり、障害の有無などの心身の状態による情報の活用に関する機会の格差の是正を着実に図ることや、国や地方公共団体が公正な給付と負担の確保のための環境整備を中心とした施策を行うことを、原案に追加した修正案が可決される。

ア AとBの間 イ BとCの間 ウ CとDの間 エ DとEの間

6 次の文章を読み、下の略地図を見て、あとの各問に答えよ。

都市には、小さな家屋から超高層建築まで多様な建物が見られ、(1) 人々が快適な生活を送るために様々な社会資本が整備されてきた。また、(2) 政治の中心としての役割を果たす首都には、新たに建設された都市や、既存の都市に政府機関を設置する例が見られる。

都市への人口集中は、経済を成長させ新たな文化を創造する一方で、(3) 交通渋滞などの都市問題を深刻化させ、我が国は多くの国々の都市問題の解決に協力している。



問1 (1) 人々が快適な生活を送るために様々な社会資本が整備されてきた。とあるが、次のア～エの文は、それぞれの時代の都市の様子について述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア ドイツ帝国の首都ベルリンでは、ビスマルクの ^{さいしやう} 宰相 任期中に、工業の発展により人口の流入が起き、上下水道が整備され、世界で初めて路面電車の定期運行が開始された。

イ イギリスの首都ロンドンでは、冷戦（冷たい戦争）と呼ばれる東西の対立が起き緊張が高まる中で、ジェット旅客機が就航し、翌年、空港に新滑走路が建設された。

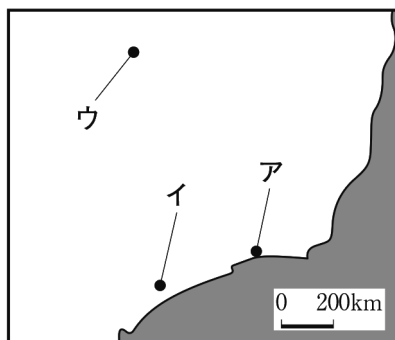
ウ アメリカ合衆国の都市ニューヨークでは、300mを超える超高層ビルが建設され、フランクリン・ルーズベルト大統領によるニューディール政策の一環で公園建設なども行われた。

エ オーストリアの首都ウィーンでは、フランス同様に国王が強い政治権力をもつ専制政治（絶対王政）が行われ、マリア・テレジアが住んでいた郊外の宮殿の一角に動物園がつけられた。

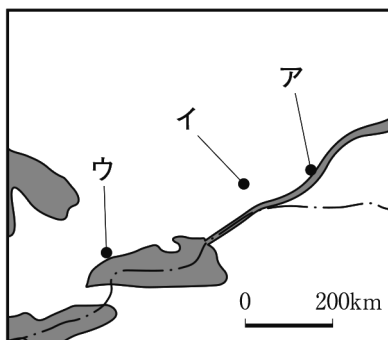
問2 (2) 政治の中心としての役割を果たす首都には、新たに建設された都市や、既存の都市に政府機関を設置する例が見られる。とあるが、次のⅠのA～Dは、略地図中のA～Dの ☐ で示した部分を拡大し、主な都市の位置をア～ウで示したものである。次のページのⅡの文章は、略地図中のA～Dの中に首都が位置するいずれかの国とその国の首都の様子について述べたものである。Ⅱの文章で述べているのは、ⅠのA～Dのうちのどれか、また、首都に当てはまるのは、選択したⅠのA～Dのア～ウのうちのどれか。

Ⅰ

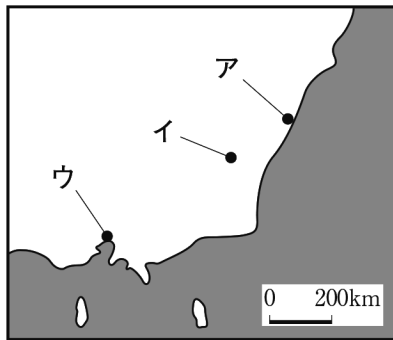
A



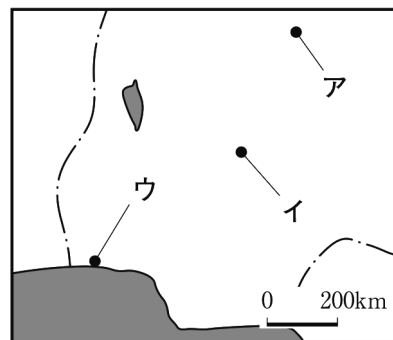
B



C



D



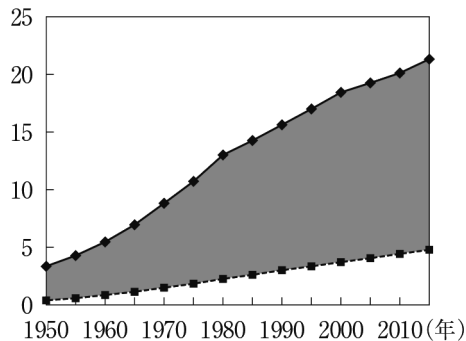
II

16 世紀にフランスがこの国の東部に進出し、隣国からイギリス人がフランス人の定住地を避けて移住したことで二つの文化圏が形成されたため、立憲君主である国王により文化圏の境界に位置する都市が首都と定められた。首都から約 350km 離れイギリス系住民が多い都市は、自動車産業などで隣国との結び付きが見られ、首都から約 160km 離れフランス系住民が多い都市は、フランス語のみで示されている道路標識などが見られる。

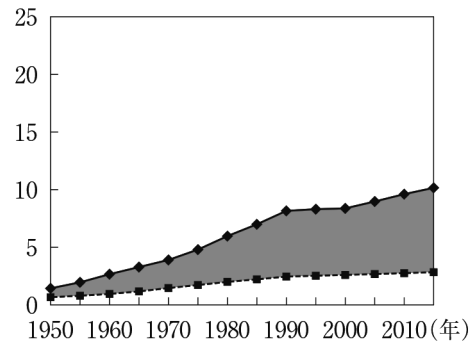
問 3 (3) 交通渋滞などの都市問題を深刻化させ、我が国は多くの国々の都市問題の解決に協力している。とあるが、次の I の W～Z のグラフは、略地図中に ■ で示した W～Z のそれぞれの国の、1950 年から 2015 年までの第 1 位の都市圏と第 2 位の都市圏の人口の推移を示したものである。II の文章で述べている国に当てはまるのは、略地図中の W～Z のうちのどれか。

I

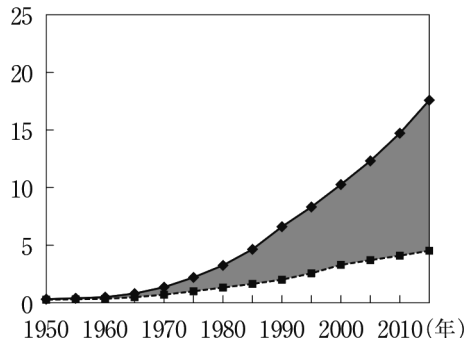
W (百万人)



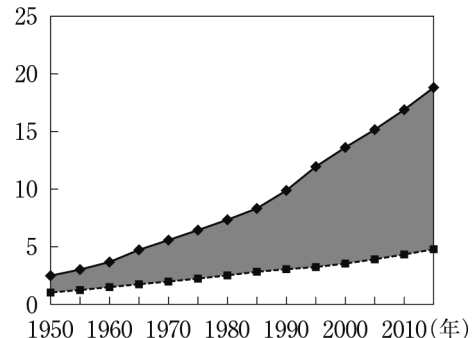
X (百万人)



Y (百万人)



Z (百万人)



—●— 第 1 位の都市圏の人口 - - - ■ - - 第 2 位の都市圏の人口

(国際連合資料より作成)

Ⅱ

○1949 年にオランダから独立し，イスラム教徒が 8 割を超えるこの国では，第 1 位の都市圏と第 2 位の都市圏の人口差は，1950 年に 100 万人を下回っていたが，1990 年には人口差は約 7 倍と急激に拡大しており，その後緩やかな拡大傾向が続いた。

○深刻化した交通渋滞や大気汚染などの都市問題を解決するため，日本の技術や運営の支援を受け，都市の中心部と住宅地をつなぐ国内初の地下鉄が 2019 年に開通した。